

鳳凰三山山行記

ハイキングクラブ teruru 中谷 文則

日 程：9月30日～10月1日

ルート：1日目 青木鉱泉―五色ノ滝―鳳凰小屋―地藏岳―鳳凰小屋
2日目 鳳凰小屋―観音岳―薬師岳―御座石―青木鉱泉

天 候：両日とも晴れ

メンバー：ハイキングクラブ teruru 会員 4 名

大阪を午後7時に車で出発し、午前2時に青木鉱泉に到着。ここまで運転してくれて晩酌を嗜むA氏を労わることなく同乗の3名はさっさと就寝。(きっとA氏は寂しくて見上げた星空が涙で滲んだことだと思います。すみませんでした。笑)

翌朝、天気心配はなさそうで一安心。ドンドコ沢ルートは地藏岳までのおよそ1,600メートルを一気に登る。色づき始めた木々や辺り一面を覆う美しいコケに癒されながらも急登の連続に息が上がる。そんな中、五色ノ滝に立ち寄ってみると想像を超える水量と落差に興奮し、しばし辛さを忘れることができました。

やっとの思いで辿り着いた鳳凰小屋で昼食。個人的に疲労困憊だったのでこのまま小屋に留まることをやんわり主張するも同行メンバーの温かい(?)叱咤激励を受け、なんとか当初の計画どおり地藏岳まで辿りつくことができました。



迫力のある五色ノ滝



有名な地藏岳のオベリスク

夕食後は疲れもあって早々に就寝。翌日早朝に小屋を出発し1時間ほどで稜線に出て観音岳の頂上に立つ。そこからは日本アルプス、ハヶ岳、富士山などの絶景を心ゆくまで眺めることができました。

その眺めの中でも一番印象的だったのが北岳の姿。北岳は15年ほど前に初めて登ったアルプスの山。テント場から眺めた山々が赤く染まる夕景、夜空に広がる天の川、そして間ノ岳までの稜線を素晴らしい景色に圧倒されながら歩いたことを今でも鮮明に覚えています。

やっぱり初アルプスの印象って大きい。大げさかもしれませんが、これまで山を続けることができたのもその時の感動があったから。登山を好きになるきっかけをくれた北岳。その姿を間近に眺めることができて感慨もひとしおでした。そのせいでしょうか、普段スマホで自撮りなどしないのですが、気付いたら北岳をバックに連写する手が止まりませんでした。(笑)



薬師岳から白峰三山を望む

後ろ髪を引かれる思いで稜線を後にし、中道ルートを下山。樹林帯を終始進む道で木の根に躓かないよう注意して歩く。無事青木鉱泉に到着した時はホッとしました。

今回の鳳凰三山は終始好天に恵まれ大満足の山行となりました。同行してくれたteruruメンバーに感謝です。あの稜線から眺めた山々にまた行ってみたい。甲斐駒ヶ岳や仙丈ヶ岳なんてどうだろう？と、早くも来年に向けての計画が頭をよぎる今日この頃です。